

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		3		作成日		30年 6月 26日			
事務事業名		斎苑管理運営経費						シート作成部署					
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち						課名	町民課		係名	戸籍住基係	
		4-2 良好な生活環境のまちをつくる						シート作成者					
	施策	4-2-1 環境衛生対策の推進						予算費目	会計		一般		
									款		4		
主要施策	⑤ 墓地・火葬場の充実						項		1				
							目		6				
個別計画名		東員町斎苑中長期整備計画											
		東員町斎苑個別施設計画											
住民との関わり		その他											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）								
	利用者				この施設が安定した稼働とサービスが提供できている。								
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		東員町斎苑の長寿命化…東員町斎苑は昭和61年に竣工し、今年で32年目を迎えています。今後東員町斎苑中長期整備計画の下、計画的な修繕と改修が必要になります。平成30年度は外壁改修工事を実施、今後は電気設備、空調設備、外溝設備、火葬炉設備などの改修が必要となります。											
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 61年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし											
根拠法令・要綱等		東員町斎苑の設置及び管理に関する条例、東員町斎苑の設置及び管理に関する条例施行規則											
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		0			13,844			30,106					
財源内訳	国庫支出金		0			0			0				
	県支出金		0			0			0				
	地方債		0			0			7,600				
	その他特定財源		0			6,411			6,225				
	一般財源		0			7,433			14,697				
直接事業費（千円）A		0			13,844			28,522					
人件費（千円）B		0			0			1,584					
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		0.24 人		1,584
	臨時職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		0.00 人		0
成果指標	成果指標名				単位	29年度		30年度	31年度				
						目標	実績	(目標)	(目標)				
	①	葬祭場・斎苑に対する満足度			%	-	92	95	95				
	②												
③													
説明	平成29年度喪主用アンケート回答件数39件のうち、満足23、普通13と回答した数												

事業名	斎苑管理運営経費	シート作成課	町民課
-----	----------	--------	-----

一次評価者	町民課長	二次評価者	生活部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	火葬需要に応えるため、斎苑の長寿命化は必要なものと考えます。
<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	今後の火葬需要はますます高まるものと考えられます。施設を維持することは有効な施策です。
<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	東員町斎苑を計画に基づき改修を進めています。また火葬炉については、保守点検による修繕と緊急的な修繕を行っています。
<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設の効率的な運用ができるよう、委託業者と月一での定例的な打ち合わせを行いながら業務を進めています。

本事務事業の実施適切性の説明

住民の終の施設として、また遺族の心の安らぎのため、東員町斎苑は今後も町に必要な施設です。長寿命化を図り、安定した施設の稼働とサービスの提供を維持することが必要です。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
	今後の改革・改善目標	町民の火葬需要に応えるため、施設改修を計画的に行い、現在の施設をより長く使用するため修繕・補修を行い長寿命化を図ります。					

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
	コメント	町内の施設がそれぞれ改修が必要となってきています。斎苑も同様に計画的な改修を行うことが必要です。					

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--